カランの日記

降霜の月8日

ああ、タルブール！愛しのタルブール！彼のことを考えずにはいられません！市場で一目見たときから、私の心は奪われました。しかし父は平民との結婚を許しはしないでしょう。ましてや貧しいダンマーの鉱山労働者とは。マーラ、私はどうしたらよいのでしょう？

薄明の月の11日

タルブールからまた手紙です。今週3通目です。彼は私なしでは生きていけない、私を誰かに渡すくらいなら死んだ方がマシだと言っています。ああ、私も同じ気持ちです！

もうこれ以上耐えられません！いずれ父にはばれてしまうでしょう…お手伝いの者たちはみんな私の“秘密の恋”にひやひやしています。何かしらは漏れてしまうでしょう。そうなってしまう前にタルブールと私はさっさといなくならなければなりません。さもなければ、父はリーチの民を総動員して彼を潰すでしょう。

蒔種の月の22日

次の東へ向かう旅に私も連れて行くよう父を説得しました。オールド・フロルダンの宿に着いたら、夜に宿を脱け出しゾルグンデ上の丘でタルブールと落ち合います。

タルブールはここ数ヶ月給料を貯め、それをあそこの古い切り株の中にしまい込んでいると言います。それがあればリフテンへの通行証が買えるはずです。それに私たちの自由も。ああ、私の愛する人よ。もうたったの1時間だって待てません！

カランの日記

FormId	skyrim.esm:03A06F
Owning plugin	skyrim.esm
Local FormId	03A06F
Editor ID	dunPOIReachLoversJournal
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal
Value (gold)	5
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.